

委員会だより

＜4月6日(日) 12名出席＞

【★】戸塚教会 久保田氏より、「戸塚教会の建設に伴うクリプタ(納骨堂)募集」の説明を伺った。

・クリプタは、戸塚教会の新しいお聖堂の地下に位置、規模は100室で、内60室は予約済み。残り40室を近隣の教会含めて募集中。(一安置室当り、遺骨4体収容可能)

・使用予約金は、1997年5月末日迄に完納の場合に限り、50万円(完成後、使用権料となる)。

・詳細は戸塚教会の案内パンフレットを参照下さい。

【1】財務報告：97年3月決算報告を委員会了承。

(1)建設献金は、120口予定に対して、3月現在、90口で合計金額は304,400円。(注：従って、一口当りの平均金額は、3,380円の状況にある。)

②(2)教区からの指摘により、中和田教会の名義変更が必要なこと、及び新集会所の登記が未済であったことが明らかとなり、対応が必要になった。

(3)一粒会より、2回目集計(3月25日)で149,600円集まり、本年度累計156,600円となった旨報告があった。

【2】お知らせコーナー：

(1)補修工事及び物置建設は、順調に進行中。

(2)藤沢湘南病院に入院加療中の下山さん、五十嵐さんは退院され自宅療養中(経過良好の由)。

(3)3月18日に交通事故に遭われた松下さんご子息は、回復に向かっているとのこと。

(4)3月20日、静岡教会にて大橋和人氏の叙階式挙行の旨知らせが来たが、遠方の為、お祝い金を送付。

(5)4月27日に二俣川教会にて、「聖歌の集い」が挙行される。中和田教会の出席者は19名の予定。

(6)4月29日末吉町教会創立120周年式典が、5月5日藤が丘教会献堂式は、共に清水委員長が出席予定。

(7)3月30日にご復活パーティーが盛会裏に行われた。各位のご協力に感謝します。

【3】お話し合いコーナー：

(1)バザー開催日について：

・近隣教会などのバザーとぶつかる可能性があるも、予定通り10月26日に開催することに決定。

・バザー委員会開催は、清水委員長が別途調整する。

(2)5月度の教会委員会(5/4予定)は、休会とする。

(3)5月23日～5月26日の山崎神父様秋田御出張時、夜7時～9時の時間帯の留守当番は無しとする。緊急用件発生時には、清水委員長自宅に連絡のこと。

(4)なかわだ広報を、(教会にこられない)青年層全員に送ることの是非について議論、一家に一通としては、……などいくつかの提案が出た。小野寺副委員長中心に検討を続ける。

(5)4月13日(日)に、ごミサ終了後全員で椅子を片づけてお聖堂の大掃除を実施する。同時に、椅子の位置決めを行う。

壮年会だより

＜4月20日(日)＞

庭にプレハブ物置が設置されたので、神父様の蔵書の整理収納を実施しました。

婦人会だより

＜4月20日(日) 40名出席＞

1. 委員会報告

2. お知らせ

➤ 山下さんの住所と電話番号が変わりました。

戸塚区東俣野町1186-6 TEL 851-1081

地区はDからCへ。望月さんの下にご記入下さい。

➤ 掃除機の件

使用できるのが一台なので、祭壇や部屋のお掃除に使い易い小型掃除機をもう一台購入して欲しいとの要望がありました。(購入済み。)

➤ お茶の値上げの件

今まで業者のご好意で消費税がかかっていませんでしたが、これからは5%という事でお値段を上げさせていただきます。

3. お願い

➤ バザーの自主製作品(2点)の提出について

各自値段を付けてお出し下さい。(10月5日迄にお願いします) 値段のついてないものにつきましては、値段付けにいらした人にお任せ下さい。

➤ 古着の販売

6月の第一、第二(日)に行います。両方とも4月26日から箱を出しておきますのでよろしくお願いいたします。

4. 皆で協力しましょう(案)について

沢山のご意見をありがとうございました。

婦人会の仕事を手分けしてやる事は良い面と悪い面とがあるので、今のままで、これからも皆で協力して行きましょうという事になりました。

次回例会5月18日(日) 次回当番はC地区です。

今月の予定

主の昇天 5月11日
聖霊降臨 5月18日
三位一体の主日 5月18日
サロン 5月11, 25日
レジオ 5月9, 16, 23日



第225回

カトリック中和田教会

広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1

Tel. (045) 803-6141

1997年5月4日



一九九七年の四旬節

第四の主日 メッセージ ②

山崎 正俊



悲しみ節のなかにも、喜びの主日がはいっているのは、典礼のありかたで、これは「いつでも、救いの希望は与えられている」ということのためです。ツグナイの業をはじめるとき、ワザワイは心のうちから消えていったという過去の思い出を、なっとくさせるというような不思議な習慣なのです。

◎ アブラハムが、神様には従わなければならないという信仰の印を、持ちつづけている者であることをためさせられようとして、ただ一人の息子をイケニエとして捧げることを命じられたとき(これは、試みとしてはあまりにもヒドスギルと、私はいまもナットクできない)、実際には代わりのイケニエの動物を神様はお与えになろうとしておられたのに、それは、その息子をイケニエとして焼くまえに、そのイノチをとろうとして刃をあてるまでは、その手をおしとどめようとはなさなかったのだから、その時までのアブラハムの心のうちでの苦しみ(神様に対する不信の思いを抑えようとしての胸うちでの戦いは、あまりにも度の過ぎたものであったと私には感じられるほど、ナットクできないものとなっている。その)苦しみは、「救われるためには、どんなにヒドイことでも、したくないことでもしなければならぬ。神様なら、そのようなことを無理強いしてもよいのかと、私の本心は痛みつづけて、止みません。

けれども、人祖以来の罪業を見るならば、それを赦されるための恵みを取りもどすために、御子イエズス様をこの世に人としてお降しになって、あのような御生涯をすごさせ、しか

も身代わりのイケニエを準備しないで(それならば何故に、人間に罪を犯させたのですか。その罰と弱さを与えたので、必要な犠牲がさげられるために、神様のなさることは私たちの知らぬことでもあるのに、御承知で勝手に)あのような残酷な結果を許されるのは、何を教えようが為のなさりようですか。あの御独子へのあのようなお仕打ちは、ナットクしなければならないわけでも、「何故の事か」という疑いは消えもしないのに、イエズス様の御姿を思うたびに、聖パウロにならって、あのトリコになるしか思い浮かべませんが、あの信仰告白は、追いつめられた聖パウロの、自己告発に見えます。

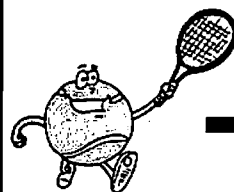
◎ 信仰の礎としての、教会の頭としての役目に置かれた聖ペトロと同日に、教会は聖パウロを記念します。キリスト信者になる以前のことと其の後のこととの違いを、きわだたせようと教会が選んだ道ではないかと、その奉獻の型の異常さに驚かされるほどの反逆者の中から、遅れて来た「被差別者に対する残酷さ」打ちのめされる。歴史のなかで、神様の名によって多くの誤りを犯して申し訳なかったと、ポーランド出身の現教皇は、説教台で、教会の最高責任者として頭をさげられた。暗殺されそうになりながらも、これほどはっきりと云わねばならぬ時代になったかということですが、「何も解決しない」と云われる、ありもしなかった正義の戦争をもちかける権利を国家の指導者に認めるカルジナルの乱暴な発言にあきれて、何を云ってもどうにもならぬかと、ムナシイ思いに-----

ミサ 当番表 (97年5月、6月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
5/4	復活節第六主日	富田	大宮	6/1	キリストの聖体	宮崎	大宮
5/11	主の昇天	青年会	岩淵	6/8	年間第十主日	青年会	岩淵
5/18	聖霊降臨の主日	婦人会C地区	石川	6/15	年間第十一主日	婦人会D地区	石川
5/25	三位一体の主日	小野寺	森田	6/22	年間第十二主日	岩淵	森田
				6/29	聖ペトロ・聖パウロ使徒	婦人会D地区	大宮

※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。(萩原: Tel 802-6258)



『 雑 感 』

森脇 信行

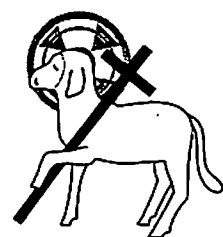
昨今普通の高校生がポケベルやPHSを持ち歩き、普通の中校生がファッション雑誌を読み流行を追い求め、個性個性と言いつながらなぜかルーズソックスにミニスカートといった同じ格好をしている。そんな姿を見るとき、いまの子供たちは自分を見失っているのではないかなんな気がしてなりません。私の知り合いの公立高校の先生の話によると、高校で部活動を頑張っている生徒は全体の20%にも満たなく、反対にアルバイトをして自分が遊んだり服を買ったりするためのお金を得ることに夢中になっている高校生は、部活を頑張っている生徒の数を大きく上回っているだろうとのことでした。このことはいろいろな価値観があり個々の個性を認めあえるよい時代になっていると考えることもできるのですが、なぜかこれでいいのか疑問を持たずにはいられません。私も一教師としてこのことを考えたとき時代の流れに負けないように取り残されないように自分の器を大きくし理解していかなければいけないと考える一方で、父親として何が正しくてどのように生きていくことがよいのかどう娘に伝えて行ったらよいのか不安に思うことがあります。

生徒が一人で(自分で)生きていく力を育てていきたい。このような場を作りたい。私がこう考えてテニス部を作ったのは今から9年前のことでした。その日から毎日全国制覇を目標にして放課後グラウンドで、また朝は毎日7:00から生徒と共に取り組んできました。一生懸命やったからといって必ず試合で勝てるとは限らない。しかし、一生懸命やらなければ絶対いい思い出はできない。そう自分と生徒に言い聞かせて取り組んできました。今の時代こんな部活は時代遅れかもしれないそんな思いに駆られることもしばしばありました。しかし、そんな部活に共感し入部してくる生徒を褒めてあげたい。そんな思いが私をひっぱっていきました。

先日(3月26日から31日まで)部活の生徒を引率して、三重県で行われた全国中学校ソフトテニス大会に参加してきました。団体戦で全国大会に出場するのは部活の顧問になって初めての経験で、そのレベルの高さや、選手達のテニスにける情熱や姿勢に驚かされました。実際試合までは、自分の育てた選手の実力が全国大会という場で通じるのか不安でいっぱいでした。しかし、幸いにも私の学校の生徒達は会場の雰囲気にもまた全国大会というプレッシャーにも負けずに元気いっぱいプレーすることができました。結果は広島県の向陽中学校に負けてベスト8でしたが、生徒達のなかに明らかな一歩の成長が見受けられました。

私は生物の教師をやっている父の影響で小さいころから動物が好きで、また動物の飼育が自分の特技だと思っていました。当然、大人になったらそういった好きな分野を生かした職につきたいとも思っていました。そんな私が中学校の教師になろうと決心したのは、大学1年のときに中和田教会で中学生会を始め、中学生とのかかわりにのめり込んでしまった事が1番の原因だったと思っています。ある日の例会の事で。その日は朝日新聞に載っていた自殺した中学2年生の少年の遺書を題材に取り上げました。ハムスターだけが友達だった・・・で続いていく遺書の全文を読んだ後で感想を聞きました。『自殺は神様が与えてくれた命を粗末にすることだからすごい罪だと思ふ。だからこの人は地獄に落ちると思う』そして、相槌を打つ回りの子供たち。『自殺する人はとても弱いと思う。もっと強くならなくちゃいけない。』やはり相槌を打つ子供たち。自殺した少年が周囲の人に何を望んでいたのだろうか。いじめを受けているときどんな気持ちだったのだろうか、そのことに触れることのできる子がいなかったのが残念でたまらなかった。また別の日の例会でRL(生活の見直し)をしているとき、『学校で友達にひどいことを言って傷つけてしまった。だから今日は早く来て告悔をしました』と話した子に対してそのとき私は思わず『告悔をして自分のしたことが許されたと思うな。ちゃんとその友達に謝ってこい。』と言ってしまいました。まずいことを言ったかなとも思いましたが、そのやり取りを聞いていらしゃった宮下神父様の笑顔が印象的でした。聖書研究で99匹の羊のたとえを題材にしたとき『神様はいつも一人の私でも見ていてくださる』と答えた人にみんなが相槌を打っていた。一人ぐらゐ迷っている人のために働きたいと答えてもらいたかった。そういった思いのなかでまた、教会学校での中学生との多くのかかわりの中で教師になろうと決心が固まっていたのだと今は思っています。

この原稿を書きながら自分を振り返ってみて気づいたことは、部活に夢中になって教会から足が遠のいている私にも、やはり神の意思が働いているのかなということです。私の教員としての原点は、どんなに私が変わっても教会学校だということです。決して教会から足が遠のいたことの言い訳でなく、私の中のイエズス像はまだまだかわらず生き続けています。こんなわがままな私を、たまに教会に行ったときに、立派に成長し成人になったあのころのメンバーが、暖かく迎えてくれるところが中和田教会のすばらしいところなんだと思います。私にとっての教会とは、つかれたときにフツと羽を休ませてくれる場所なのかもしれない。



竹田 恭

ふと気がつくと、私は長男の幼い頃に持っていたハーモニカを見つけて吹いて居りました。時にはトントんと払うと、乾いた小さな虫がころりと出てくることもありましたが。一人居の空しさを味わう日々の掛け替えのない友として、とても大切にしていた様です。

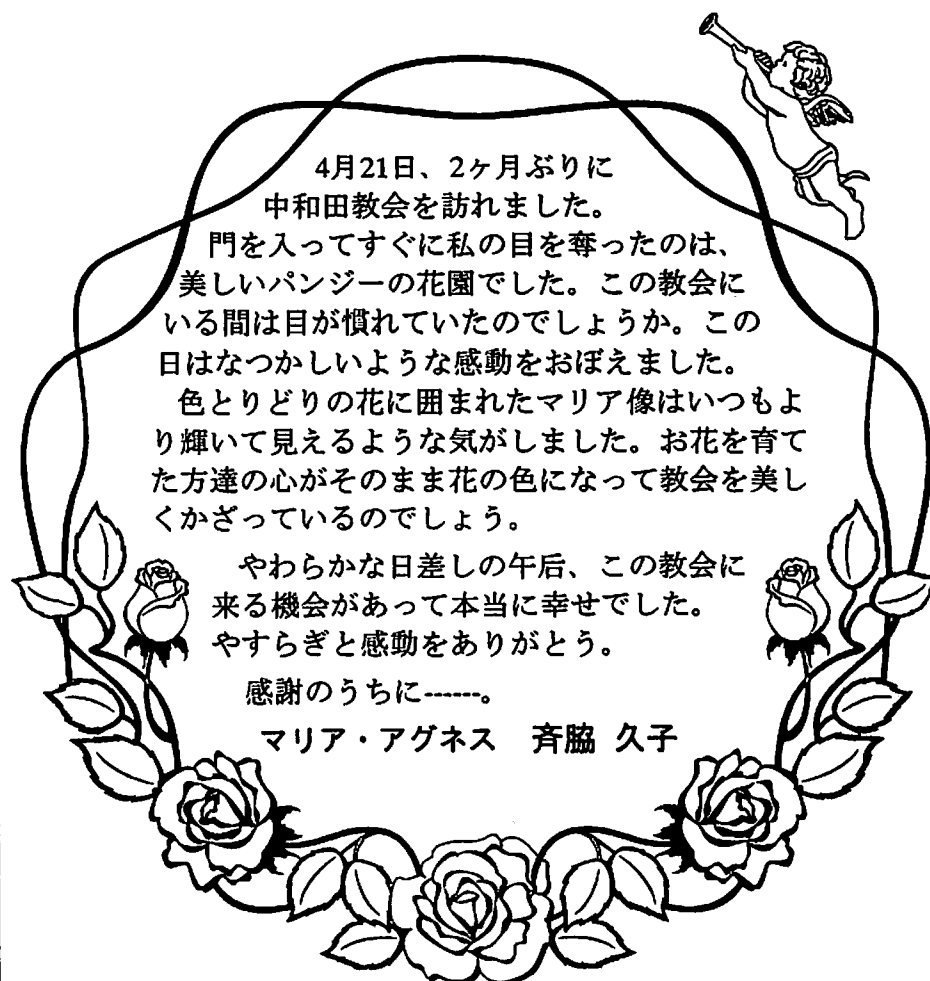
振り返れば、病も重くなり口数も少なくなった夫を何とか元気付け様と毎日のお食事のあと夫が眠りに就くまで、静かに吹いていたようです。やがて帰らぬ人となった夫への呼び掛けとなり、畠仕事のあとは必ず、テレビの音を上げておいて心ゆくまで吹いていたものです。元気に暮らして居りますよ!! 見て下さいね!! と。自分自身の慰めとなった大切なこの小さな楽器でした。その内にこの曲は誰の曲かしら? この曲は美しいな!! とかしみじみ味わい乍ら、又時には涙し時には夢中に、春の歌、夏の歌、四季を通して時間の許す限り、吹きました。そして私の小さくて大切な宝物となってゆきました。あれから幾年が過ぎたかしら、思ったより良い運動となり小食だった私はすっかりかわりました。

時に涙、時に晴れやかに、我流でよし、ああでもない、こうでもない、と自分の好みの音が出るまで幼子の如く楽しんでまいりました。作曲された方、作詞された方々のお心をそっ!と、のぞかせて頂く気持ちで、これからも大切に生きてゆく事でしょう。

惚け、半惚け、丸惚けと-----ハーモニカを見て、コレ何? という日まで。

かつて私は何一つかくし芸がありませんでした。見せて頂いたり聴かせて頂いたり。この年になって何とかお仲間に入れて頂けるなんて思いもしなかった事で、とても有り難くしみじみお恵みを感謝して居ります。

感謝しても感謝しても足りない気持ちで日々を大切に過ごさせて頂いて居ります。私の小さな宝物と共に!!



4月21日、2ヶ月ぶりに中和田教会を訪れました。

門を入ってすぐに私の目を奪ったのは、美しいパンジーの花壇でした。この教会に在る間は目が慣れていたのでしょくか。この日はなつかしいような感動をおぼえました。色とりどりの花に囲まれたマリア像はいつもより輝いて見えるような気がしました。お花を育てた方達の心がそのまま花の色になって教会を美しくかざっているのでしょうか。

やわらかな日差しをの午後、この教会に在る機会があつて本当に幸せでした。やすらぎと感動をありがとう。

感謝のうちに-----

マリア・アグネス 齊脇 久子

お知らせ

結婚式

▶ 1997年3月15日 於 貝塚教会
アロジオ 西村 信哉
松沢 朋美
泉区岡津町1346-8 サザンクレスト100
Tel. 804-2682

▶ 1997年4月5日 於 藤沢教会

秋山 美典
アンナ 今里 久美子
藤沢市弥勒寺1-2-20
Tel. (0466)27-4765

転居

ペトロ 小山 雄悟
〒144 東京都大田区西浦田7-9-3
ワイズコープ 604
Tel. (03)3735-5431

転出

聖母の園の教会(戸塚教会)
ペトロ 山下 弥吉
ベルナデッタ よし子
セシリア 弥生
戸塚区東俣野町1186-6
Tel. 851-1081